

☆☆矢野目小学校教育目標☆☆互いを大切に、笑顔で協働する子ども

令和6年度矢野目小学校 学校だより

みんなの広場 2

笑顔があふれ、明日もまた来たくなる学校

2024.5.10 発行 No.17 文責 目黒 満

☆☆自ら学び、深く考えて行動する子ども☆☆心と体を鍛え、命を大切に子ども

12日(日)朝8時からPTA奉仕作業です。教育環境整備・支援サポーターに加え、ボランティアの協力をお願いします。今年度、天候の影響か、例年より雑草が少ない状況です。そこで、**何名かのお父さん方には、樹木の剪定作業**をお願いしたいと思います。ご家庭に**剪定用の道具**がありましたらご持参ください。**親子一緒に参加**もお待ちしています。

家庭と学校ががっちり手を繋ぐ2年目に

「ネット依存」にしない子育てを！予防と対策 最終回

大人も子どもも**ネット**をかしく使いましょう

【相談窓口・参考サイト】

<p>インターネット上の誹謗中傷に関する相談窓口(総務省)</p> <p>インターネットの書き込みにより、誹謗中傷などの被害にあわれた場合の相談窓口の案内です。</p> 	<p>デジタル時代の子育てを一緒に考えよう(総務省)</p> <p>子どもが、インターネットを安全に活用する方法がわかります。</p> 	<p>消費者ホットライン(消費者庁)</p> <p>最寄りの消費生活センター等の相談窓口につながる全国共通の電話番号です。</p> <p>1 8 8</p>
<p>ネット・ゲーム依存の相談(福島県精神保健福祉センター)</p> <p>ネット依存の問題でお困りの方、ご家族の相談と心のケアを行っています。</p> 	<p>全国統一スマホデビュー検定(Y-mobile)</p> <p>スマホを正しく使う知識を学べ、親子で話し合いながらルールリストが作成できます。</p> 	<p>ネット依存症 相談先一覧</p> <p>全国の精神保健福祉センター、専門医療機関、関連団体や自助グループなどが検索できます。</p> 

これまで4回にわたって特集してきましたが、大切なわが子をネット依存にしないようにするには**まずは大人がネットやスマホと賢く付き合うことが最も大切なこと**です。**大人自身が、ネット依存になっていないか、**

四六時中端末を見ていないか等を厳しくチェックする習慣を付けていきましょう。

学校では、学習用タブレットを有効に使いながら、**ネットの危険性やネチケット、マナーやルール**等を指導してまいります。**ご家庭においても、お子さんにスマホやゲーム等のネット端末を与える場合には、時間の制限や時と場についてのルールを具体的に決めた上で、日々のチェックと指導、そして毎日のコミュニケーション**をよろしくお願いします。ネット依存になるとなにか起こるのか、実際の事例から学んで、ネット依存特集を締めくくります。

埼玉県のある一家の長男は、わずか1年で戦闘系オンラインゲームにのめり込んだ。きっかけは小学6年の春休み、中学の合格祝いに与えたパソコンだった。

毎晩9時。自宅のWi-Fiが強制的に切れ、ゲームができなくなると、長男は「あと30分延長して」と求めてくる。断る父親と口論になりやがて暴れるようになった。

2階からいすを投げ落とす。居間のテレビ、台所のクッキングヒーターと、手近の物をたたき壊す…。

母親は髪をつかまれ、足蹴にされた。あざが絶えず、遺書さえ書いた。

「警察を呼んでくれ。」ある夜、父親が長男を押さえながら叫んだ。母親は震えながら110番した。

茨城県のある一家では、中学校進学と同時に、娘にスマホを買い与えたところ、24時間スマホを肌身離さず、異常な執着を見せるようになってしまった。まず成績が下がった。中学に入学してすぐの実力テストでは平均で90点以上とれていたが、1カ月後の中間テストでは80点、期末では70点台。点数そのものよりもまったく勉強しなくなってしまった。

スマホ以外にはまったく関心を見せないようになり、トイレだろうが風呂だろうが常にスマホを持ち歩き、校則で禁止されているにも関わらず学校にも持って行った。持ち物検査が行われる日は見つからないようヘルメットの中に隠して自転車のカゴに入れていた。

夏休み、1日中スマホをいじっている娘に「これ以上成績が落ちたらスマホを取り上げる」と強く言い聞かせると「それは絶対イヤだから、これからは頑張る」と答えていた。しかし状況は変わらず、2学期の中間テストも70点台。期末テストではさらに下がって60点台だった。

成績表をみて、「約束だから」とスマホを取り上げた瞬間、うなだれていた娘は「何するんだよ!!」と鬼のような形相で飛びかかり、母からスマホを奪い取った。母親は必死でスマホを取り返し抱え込んだ。背中を丸めてうずくまる母親に対し、娘は「てめえ、ふざけるなよ!返せよ!」と罵声を浴びせながら殴る蹴るの暴力を振るった。

いずれもこの数年に起きた事案です。日本初のネット依存外来を開設(2011年~)した久里浜医療センターは数ヶ月先まで予約で埋まっているそうです。なんの**対策もとらず、ルールも設定せず**、子どもに「**預けっぱなし**」「**使いたい放題**」でスタートした結果、「**起こるべくして起きた**」とも言える悲劇なのかもしれません。